

令和3年度第1回  
長柄町総合教育会議 会議録



長 柄 町

令和3年度第1回長柄町総合教育会議 会議録

1. 日 時 令和3年4月21日(水)  
開会 9時00分 閉会 10時05分
2. 場 所 長柄町役場 2階 ミニホール
3. 出席者 長柄町 町長 清田 勝利  
長柄町教育委員会 職務代理者 篠田 孝行  
教育委員 加藤 士郎  
教育委員 窪木 尚  
教育委員 宮坂 雪里  
教育長 石川 和之

(事務局)

- 総務課長 石井 正信  
学校教育課長(給食センター所長) 川田 亨  
生涯学習課長(公民館長) 松本 昌久  
総務課主査(行政管財係長) 山田 比呂貴  
学校教育課主査(学校教育係長) 牧野 正幸  
生涯学習課主査(生涯学習係長) 斉藤 和之  
建設環境課主査補 松井 祐樹  
書記 総務課副主査 白井 雄大

4. 案件 (1) 新公民館建設事業の経過と今後の事業計画について  
(2) 新型コロナウイルス感染症に伴う小中学校及び公民館の対応  
について  
(3) 長柄町 GIGA スクール構想について  
(4) 今後の児童生徒数の推移と小学校のあり方について

5. 傍聴人 無し

(9時00分 開会)

町長あいさつ

議長選出 総合教育会議設置要綱第4条第1項により、町長が議長となる。

案件1 新公民館建設事業の経過と今後の事業計画について

松井主査補：案件について説明

案件2 新型コロナウイルス感染症に伴う小中学校及び公民館の対応について

川田課長：案件（学校教育課所管）について説明

松本課長：案件（生涯学習課所管）について説明

案件3 長柄町 GIGA スクール構想について

牧野係長：協議事項について説明

案件4 今後の児童生徒数の推移と小学校のあり方について

石川教育長：協議事項について説明

清田町長：以上で、事務局による案件1から案件4までの説明が終わりました。これより1項目ごとに委員の皆様から意見を頂戴する。

案件1 新公民館建設事業の経過と今後の事業計画について

石川教育長：先ほど担当から現状と今後のスケジュールについて説明があったが、建設に向けて事業が軌道に乗ったところである。委員の皆様からの意見が無ければ引き続き計画を進めていきたい。

牧野係長：次年度でも引き続き継続案件となることから、計画の変更等があった場合は、定例教育委員会等でその都度報告させていただく。

案件2 新型コロナウイルス感染症に伴う小中学校及び公民館の対応について

川田課長：今後予想される緊急事態宣言等を踏まえ随時対応を行っていききたい。

窪木委員：子供たちにとって一年間、一か月という時間は非常に大切であるため、その時間が無駄にならないように、学校行事等をなるべく中止にならないように、創意工夫して取り組んでもらいたい。

川田課長：いただいた意見を受け止め、去年の経験を踏まえ子供たちの楽しみを奪わないよう可能な限り対応させていただきたい。

清田町長：集団生活の大切さを学ぶ場をなくすことの無いようにしていく。

篠田委員：様々な行事に参加させていただいているが、ルールに基づき感染症対策に注力いただいていることがよくわかる。子供たちの活動の場がなくならないような対策をお願いしたい。

先日の土曜日に何か学校の行事があったか。

川田課長：授業参観と学年懇談会があった。

篠田委員：保護者と児童が学校へ行く姿を見て、一步を踏み出したことを実感した。先ほども川田課長から話があったが、出来ることはできる限りやっていくという思いを感じ、わくわくしている。

### 案件3 長柄町 GIGA スクール構想について

清田町長：現状見えている課題はあるか。

牧野係長：教員も実際に機器に触れてもらう準備を進めている。

教員のスキルアップも不可欠なことから、サポート体制をしっかりと構築していく予定である。

篠田委員：ICT 支援員についての話があったが、役場の窓口でパソコンを使いマイナンバーの手続きを行う際に、職員の方が非常に丁寧に対応してくれた。支援員の方にも丁寧な対応を期待したい。

牧野係長：支援員については、学校 PC の保守契約先である大崎コンピューターエンジニアリングから月に半日の派遣 2 回、1 2 か月分の支援員派遣を予定している。繁忙期等で派遣日の設定ができなかった場合は、翌月以降への持越しを可能とするように仕様書に盛り込んである。PC の使用方法から校務支援システム等の利用方法も対応が可能であり、手書きが必要であった通知表などもシステムにより出力が可能となっている。

支援の幅も広いため、教員のスキルアップも見込める。

清田町長：教員も慣れが必要だと考える。

市原市では市民が支援員となっているところもあるので、先進事例を参考にした体制作りも大切である。

### 案件4 今後の児童生徒数の推移と小学校のあり方について

篠田委員：日吉地区には日吉団地があり、そこまで児童数に変動がなかった。

今後は団地に子育て世帯が入居するかどうか重要である。長柄地区にも子育て世帯が移住したり、居住できるようにしていかな

ければ、児童の減少は止められない。

清田町長：移住定住の問題でもある。町としても引き続き取り組んでかなければならない課題である。

窪木委員：現在は中止となってしまっているであろう、近隣の学校の児童との交流は重要性を増していると考えます。生涯学習や文化交流を通じた近隣との助け合いも必然となってくることから、日常が戻った際には是非とも積極的に取り組みを行って欲しい。

川田課長：生涯学習課とも協議し、できる限り対応していきたい。

窪木委員：長南町などの近隣とも協力を図っていただきたい。

清田町長：九十九里町では新潟県の町と交流をはかっており、海辺の地域と山間部の地域との交流で、自分の地域にはないものを知ることによって、子供たちの成長が期待できる。他地域との交流については課題として受け取らせていただきたい。

宮坂委員：児童数の推移から小学校の統合を視野に入れるべきであり、検討を進めていくべき時期に入ったと思うがどうか。

石川教育長：児童数の推移を見ながら、様々な方のご意見を伺いながら検討を進めていきたい。

清田町長：その他の意見はあるか。

ないようなので、これをもって議長の座を降ろさせていただく。長時間にわたり貴重なご意見を頂戴し感謝いたします。

山田係長：以上で予定していた議題をすべて終了したので閉会とする。

(10時05分 閉会)